

# 生涯学習市民アンケート調査報告書の概要

～これからの生涯学習活動は、自己完結型から地域とのつながりへ、

結果として「経済活動」にも plus 作用～

## 1 調査目的

高齢化に伴う人口減少や個人の価値観・ライフスタイルが多様化し、急速な社会変化がみられる現在において、学習活動により社会活力を維持・増進し、地域の課題解決や地域づくりの人材育成が一層求められている。

鎌ケ谷市においても、「緑とふれあいのあるふるさと鎌ケ谷」を実現し、社会課題に対応するため、第4次生涯学習推進基本計画を定めることとし、計画策定の基礎資料とするため、生涯学習市民アンケートを実施したものである。

## 2 調査期間

平成30年7月18日（水）～8月12日（日）

## 3 調査対象・回収数

市内在住の満18歳以上の男女1,000人

回収数は372 (37.2%)

※詳細は報告書内「1 調査の概要」を参照

## 4 調査項目

(1) 生涯学習に対する考え方について

生涯学習の必要性は、世代を問わず高い。  
「心の豊かさ」は仲間づくりやその交流、また老後の時間の過ごし方がポイント。

(2) 生涯学習の現状について

生涯学習活動をしていない人が3割。  
生涯学習活動をしている人は、どちらかと言えば個人だけでできる自己完結型の活動が多い。  
一方で、生涯学習の活動をした結果、「外出の機会が増えた」「趣味が広がった」「友人ができた」が上位を占めている。このことから考えると、自己完結型を広げつつ、地域とのつながりを演出することができれば、生涯学習は、より良い地域づくりはもちろん、「経済活動」の一助となる可能性を持っていると考える

(3) 生涯学習への今後の意向について

生涯学習活動で、身に着けた知識や技能、経験を「活かしたいけど、活かせていない」という回答は、年代でみると50代が高く、職業別でみると、家事専門が高い。学習活動の機会拡充を考えるなら、50代で家事専門を想定し、事業を企画検討することも一つのポイント。  
ニーズの高いものは、「趣味・芸術的なこと」や「健康・医療・スポーツに関すること」。

(4) 生涯学習を通じた地域づくりや子どもたちのことについて

地域課題は「地域の安全・住みやすさ」と、「住民同士の助け合いや地域交流」、まちづくりのリーダーを育成するためには、「地域、団体、企業などをつなぐネットワークをつくる」がポイント。  
地域と学校、家庭が連携することで、「ルールや社会慣習を学ぶ」ことができ、「豊かな人間性の育成」につながることを期待されている。

## 5 本報告書全体を通じて～肝は、コーディネート力～

生涯学習推進基本計画策定基本方針の基本理念「自他共栄による人・まちづくり」を実践するため、「自己完結型」の活動を、「社会・地域」につなげていくことが、具体的な事業を企画、実施する上で、ポイントになることが分かった。今後、この基本理念のもと、本計画の計画策定については、人と人、人と地域をどうつないでいくか、という視点での検討が、必要であると考えます。「肝は、コーディネート力」